



小中一貫校 南アルプス市立



白根飯野小学校 学校だより

令和5年12月18日 文責 河住悦久

良いお年をお迎えください。

充実した冬休みをお過ごしください。

年度末の大変お忙しい中、個別懇談へご対応いただき誠にありがとうございました。限られた時間ではありましたが、保護者の皆さんと膝を突き合わせてお話ができる貴重な時間となりました。懇談でのお話の内容を生かし、今後も保護者の皆様とともにお子さんの成長を支えていく教育活動を行ってまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

今年は師走とは思えない陽気が続いています。間もなく、年末年始という一年の節目をはさむ冬休みが始まります。短い期間ではありますが、ご家族で是非有意義に過ごしてほしいと思います。本年も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。来年もよろしくお願いたします。どうぞ良いお年をお迎えください。



○児童会役員選挙 立会演説会を終えて

来年度の児童会長・副会長を選出する児童会役員選挙の取組が12月1日（金）に終了しました。とりわけ立会演説会は本校の子供たちにとって成長の良い場となったと思います。今年の役員選挙には4年生と5年生の7名の児童が立候補してくれました。立会演説会ではどの候補者・責任者も下を向くことなく、聞いている多くの人たちのほうを見て、大きな声ではっきりと発表していました。その前向きで、真っ直ぐな、やる気にあふれた姿にとっても感心しました。その陰には先生方のご指導もあってのことと思いますが、着実に力をつけてきている本校の子供たちの姿を見ると、頼もしくそして嬉しく思いました。立候補者のみなさんが伝えてくれた考えは、どれも自分のためだけではなく、学校のために、みんなのために、地域のために、来年度の白根飯野小学校のことをしっかりと考えた素晴らしいものでした。2年生以上の子供たちが参加した約1時間の立会演説会でしたが、立候補者と責任者の子供たちの気持ちを伝えたいという思いに、話を聞く側の子供たちも自然と静かにそして真剣に人の話を聞く雰囲気ができ、体育館はとても良い緊張感に包まれていました。みんなで学校という集団生活の場所を豊かなものしていくために、みんなで真剣に考えるととても良い成長の場となったと思います。

児童会役員選挙の期間中は、クラスみんなで立候補した人たちを支える、4、5年生のクラスの仲間の頑張る姿もとても立派でした。人を真剣に応援してあげる気持ちは、よい仲間意識につながっていくと思います。来年度の学校のリーダーとなる4、5年生の活躍がとても楽しみにになりました。

最後に3年生以上の選挙管理委員の皆さんも今回の児童会役員選挙を支えてくれた大きな原動力となっていました。休み時間も返上して準備を行い、当日の運営もとても素晴らしいものでした。



○語り継ぎたい戦争の記憶

今年も6年生が白根飯野小学校周辺に残る「ロタコ」と言われる戦争遺跡を巡る学習を社会科の歴史の学習を深めるための総合的な学習の中で行いました。昨年度の学校だよりも書かせていただきましたが、私たちの白根飯野小学校周辺には80年近く前に日本が他国と戦争をしていた時代の事実を物語る遺跡が数多く残されています。学校から5分もかからない畑の中にある御勅使河原飛行場跡、物資の保管や飛行機の工場にするための築山の横穴跡、飛行機を隠して保管するための掩体壕^{えんたいごう}などが学校の周囲に残されています。飛行場の名称は「御勅使河原飛行場」でしたが、「第2立川航空廠（こうくうしょう）」を示すともいわれる暗号名を「ロタコ」と呼ばれてきました。「ロ」は「第2」を表すイロハの「ロ」、「タ」は「立川」、「コ」は「航空廠」（陸軍の航空関係施設）を表すといわれています。

今回も南アルプス市教育委員会文化財課の斎藤秀樹さん、戦争当時のこの地域に生きる人たちの生活の様子や思いを知る97歳になられる地域にお住いの市川良一さんと、92歳になられる飯野長重さん、そして飯野長重さん息子さんと元校長先生の飯野芳重先生と、地域の畑の中等に残る遺跡を巡りながら、戦争中の生活の様々な実体験をお聞きしました。



※白根飯野小学校にある「学徒動員の記念碑」

私たちの学校の敷地の中にも戦争当時の厳しい子供たちの生活を物語る記録が残されています。それは白根飯野小学校の体育館の駐車場にある右の写真の記念碑です。この碑には次のような言葉が刻まれています。

「昭和二十年（今から80年位前です。）第二次世界大戦中飯野尋常高等小学校高学年は学徒動員命令により、男子三十三名は白根工場へ、女子二十八名は日本蚕糸飯野工場へ、教頭中込和也先生とともに出勤し、勤労の汗を流し、八月十五日の終戦を迎え教場に復帰した。」

学徒動員の記念碑は、日本が戦争をしていたころ、戦争のために白根飯野小学校の子供たちも学校で勉強をすることができずに、木工所や製糸工場での勤労働員（働くこと）をしなければならない時代があって、戦争が終わってようやく勉強ができる学校に戻ったことが刻まれています。この碑を建てたのはその当時学校で勉強ができなかった時代に白根飯野小学校に通われていた皆さんです。そしてこの碑には今回ご指導いただいた飯野長重さんのお名前も刻まれています。この碑をつくった皆さんの願いをぜひ一度考えてみてください。この碑を創った皆さんの思いはこの碑が「鉛筆」をかたどって作られたところにも感じられます。

ご来校の際はぜひ一度ご覧ください。

学習の最後に戦争の時代を経験したお二人から「世界では今もウクライナやイスラエルのように戦争が起きている。戦争は決してしてはいけない。日本にも、この飯野にも戦争の時代があった。平和の大切さを語り継いでいってほしい。」「差別やいじめは戦争と同じ、友達と仲良く思いやりをもって、そしてしっかり勉強して学校生活を過ごしてほしい。」という大切なお言葉をいただきました。

